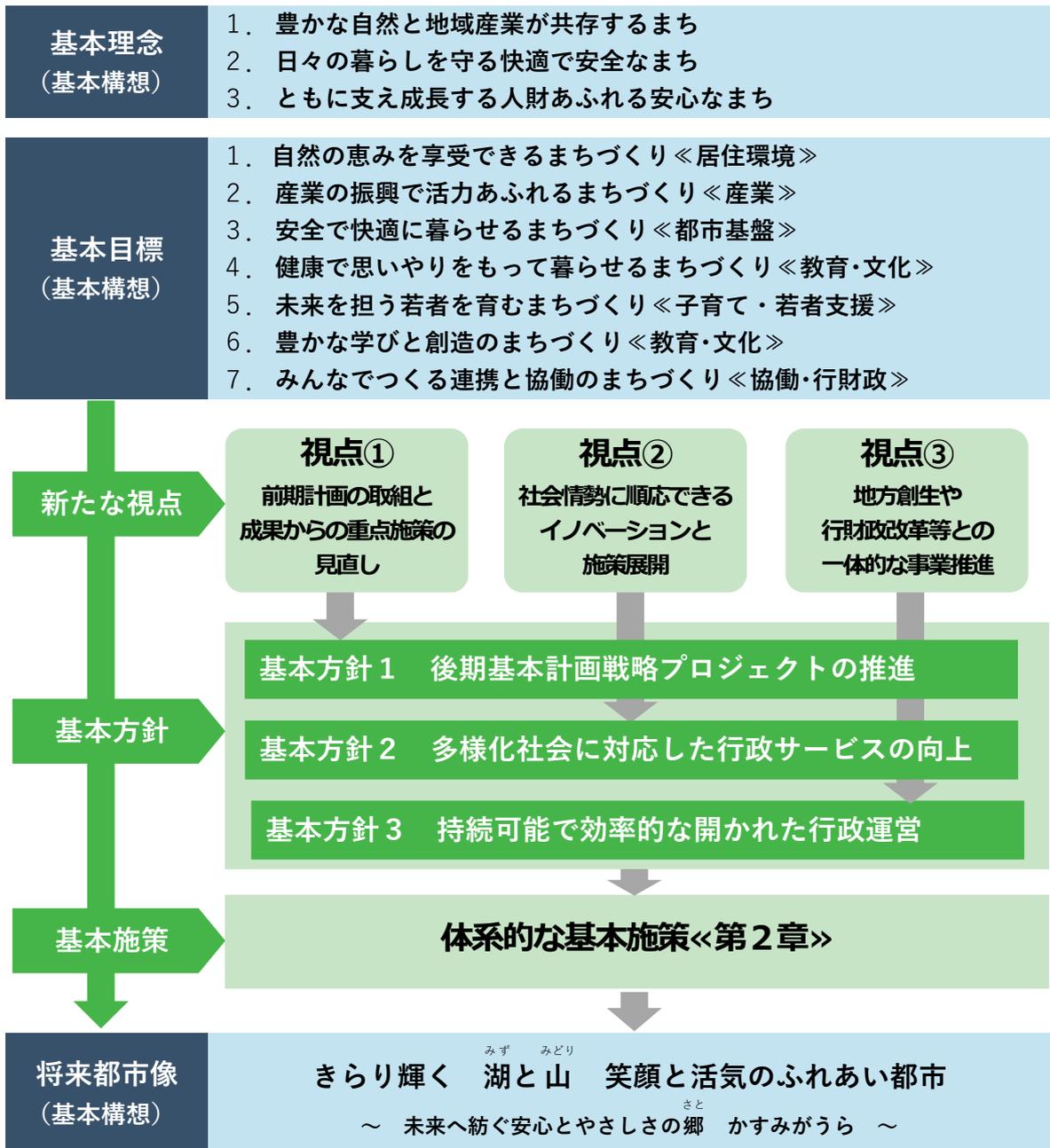


# 第1章 基本方針

## 第1節 将来都市像の実現に向けた体系

新たな視点による3つの基本方針に基づき、取組の具現化、施策の展開を図るとともに、計画の進行管理による行政運営の見える化に取り組み、基本構想の将来都市像「みずきらり輝く湖と山 みどり笑顔と活気のふれあい都市」の実現を目指します。



## 第2節 新たな視点

本市の現状や社会情勢の変化、市民意向等を踏まえ、以下の3つの視点で後期基本計画を策定します。

### 視点① 前期計画の取組と成果からの重点施策の見直し

#### 策定にあたっての考え方

施策の目的を明確にし、目指すまちの姿が共有できる計画にするためには、施策ごとの5年後の状態を示すとともに、前期基本計画の成果と課題を踏まえ、その実現に向けた具体的な施策の推進が求められます。

#### ニーズ

市民意向においては、住みやすさや定住意向の向上がみられるものの、高齢者等が安心して暮らすことができる環境づくりや若者が子育てしやすい環境づくりなど、さらなる移住・定住に係る取組が求められます。

#### 課題の整理

これまで取り組んできた歩崎公園を中心とした観光振興やウエルネスプラザの整備、JR神立駅周辺の整備等の成果を生かし、多様な世代が暮らしやすい環境づくりや交流から移住・定住につなげる施策展開が求められます。

#### 新たな視点

そのため、後期基本計画においては、前期基本計画で掲げる戦略プロジェクトの更なる推進に向け、多様な交流機会の創出からコロナ禍における新たな働き方・定住・移住施策の展開、公共交通対策や低未利用地対策等の重点化を図ります。

### 基本方針1

### 後期基本計画戦略プロジェクトの推進

## 視点② 社会情勢に順応できるイノベーションと施策展開

### 策定にあたっての 考え方

めまぐるしく変化する社会情勢に対応するために、SDGs への対応や新たな技術革新の進展、自然災害や環境意識の高まり等の多様化社会に対応したまちづくりが求められます。

### ニーズ

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大により市民生活が激変する中で、先進技術等も活用しながらポストコロナ社会における新たな生活様式への対応が求められます。

### 課題の整理

これらの社会情勢に対応して、新しい視点によるイノベーションを推進し、変革や創造による行政運営と施策展開が求められます。

### 新たな視点

そのため、各施策の展開においてSDGsへの貢献を明確にするとともに、多様化社会や新たな生活様式に対応した施策展開を図ります。また、行財政改革基本方針・アクションプランと連動し、デジタル化による行政サービスの向上と効率化などの自治体DXの推進を図ります。

## 基本方針2

## 多様化社会に対応した行政サービスの向上

### 視点③ 地方創生や行財政改革等との一体的な事業推進

#### 策定にあたっての 考え方

第2期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略や行財政改革基本方針、都市計画マスタープラン、国土強靱化地域計画など新たな重要計画を策定しました。そのため、本計画は各種計画を一体的に推進・進行管理できる計画とする必要があります。

#### ニーズ

市民意向においては、暮らしやすさの変化について、「協働・行財政」分野の評価が低くなっています。また、消防・防災や防犯などの安全面や教育、子育て、保健・医療、行財政事務などの多様な分野でのデジタル化が期待されています。

#### 課題の整理

これらのニーズに対応し、協働のまちづくりや行財政運営の改革・見える化と、総合戦略・行財政改革基本方針の両計画に位置づけられた施策の重点化を図るとともに、連動した施策展開と一体的な進行管理が求められます。

#### 新たな視点

そのため、後期基本計画においては、本計画に位置づける各施策と、総合戦略や行財政改革基本方針・アクションプランに位置づけられる施策との関連性を明確にします。また、一体的な施策展開と適切な推進に向けた進行管理の方法を位置づけます。

#### 基本方針3

#### 持続可能で効率的な開かれた行政運営

## 第3節 基本方針

### 基本方針1 後期基本計画戦略プロジェクトの推進

#### 1. 戦略プロジェクトの位置づけ

将来都市像の実現に向けて、前期基本計画の3つの戦略プロジェクトの進捗状況・課題を踏まえ、新たな視点を取り入れ、基本施策の中から今後5年間に重点的かつ積極的に取り組む施策を戦略プロジェクトとして設定します。

#### 2. 前期基本計画の進捗と課題

3つの戦略プロジェクトについて、前期基本計画における進捗と課題を整理します。

##### 戦略1：湖山と文化の“お宝”活用プロジェクト

- コロナ禍において、市内の観光施設では交流人口の減少がみられますが、歩崎公園を拠点としたアウトドアイベントにおいてはイベント参加者数の増加がみられます。
- 地域経済に波及するためには、滞在時間の増加、市内消費の拡大が必要です。
- 新たな定住者の増加や雇用の拡大につなげるためには、継続的な取組が求められます。

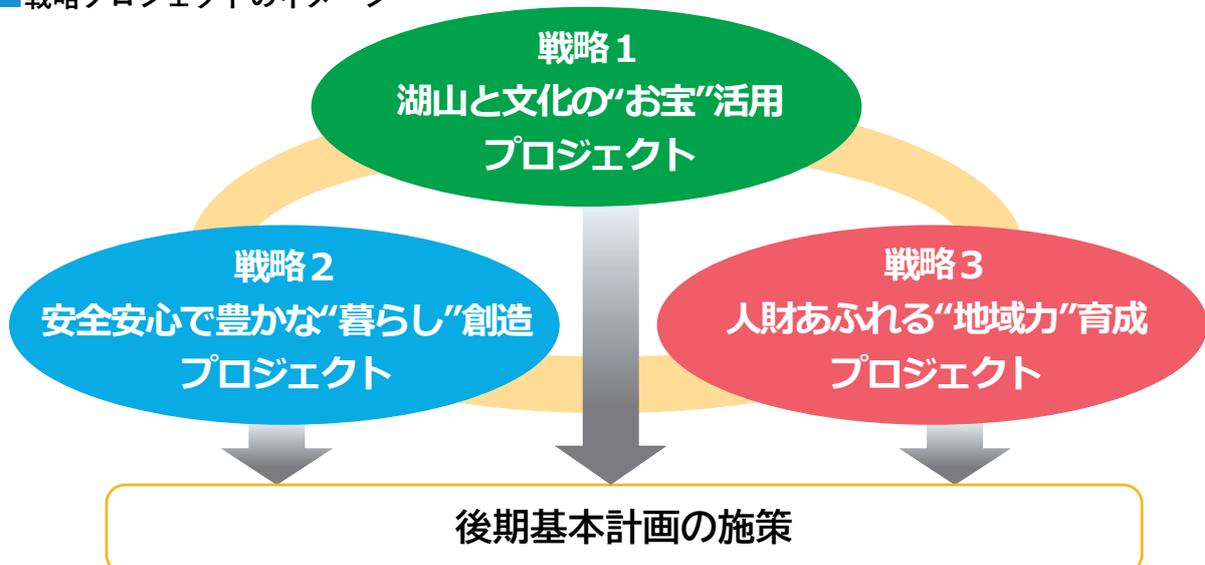
##### 戦略2：安全安心で豊かな“暮らし”創造プロジェクト

- 空家情報バンク登録に必要な条件（相続等の名義変更）が整っていない空家が多数あり、成約数の増加につながっていません。
- デマンド型乗合タクシー等により交通不便地域は解消できましたが、公共交通を維持するために利用促進が求められます。

##### 戦略3：人財あふれる“地域力”育成プロジェクト

- 子どもミライ学習事業を通じて、小中学生が地域に関する理解を深め、愛着度の向上を図るとともに、将来について考える機会の確保に向けて取り組んでいます。
- 20～30歳代の若者の定住率・UIターン数の増加につなげるためには、継続的に取り組むことが求められます。

#### ■戦略プロジェクトのイメージ



## 3. 戦略プロジェクトの概要

## 戦略1 湖山と文化の“お宝”活用プロジェクト

## ■プロジェクトの内容

霞ヶ浦や新治台地、地域の文化などは本市の宝であり、永続的に保全し次世代に継承するとともに、豊かな自然を産業や観光の振興に活用し、市全体における滞在時間の増加や市内消費の拡大を目指します。また、地域経済の循環を促進するため、地域産業の連携を強化するとともに、新たな働き方として、ワーケーションやテレワークなど働きやすい環境づくりに取り組めます。

## ■成果目標

短期	関係人口の増加 滞在時間の増加、市内消費の拡大
中長期	新たな定住者の増加、第1次産業活性化・6次産業化による雇用の拡大

## ■プロジェクトのイメージ



## 戦略2 安全安心で豊かな“暮らし”創造プロジェクト

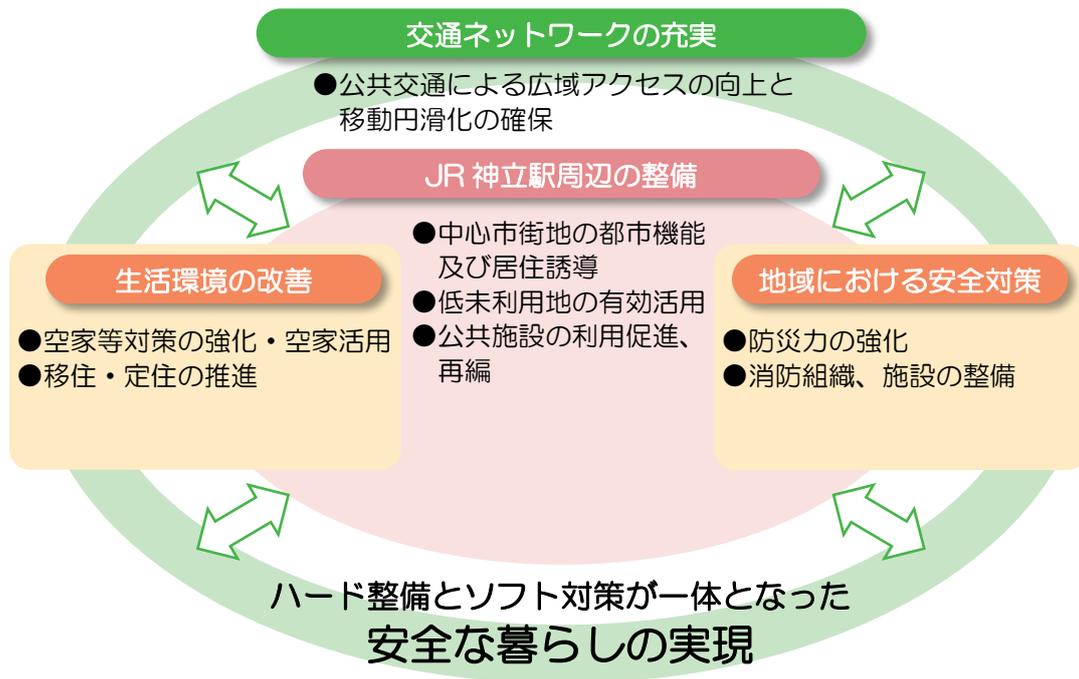
### ■プロジェクトの内容

JR神立駅周辺の中心拠点をはじめとした計画的なまちづくりにより、都市基盤・交通基盤などの生活環境が整った快適な暮らしと災害に強い安全な暮らしを実現し、中心拠点と千代田地区や霞ヶ浦地区のネットワークを形成することで生涯住み続けることができるまちづくりに取り組みます。

### ■成果目標

短期	空家・空き地の解消 公共交通の利用者数の増加（掘り起こし）
中長期	移住・定住者の増加

### ■プロジェクトのイメージ



## 戦略3 人財あふれる“地域力”育成プロジェクト

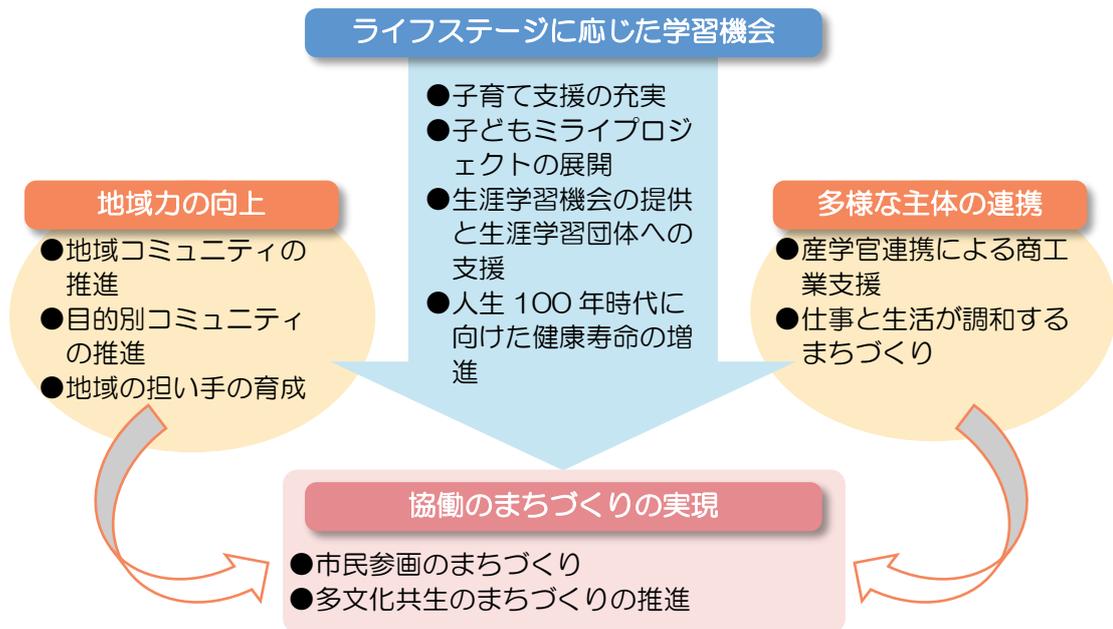
### ■プロジェクトの内容

新たな生活様式に対応しながら、ライフステージに応じた学習機会の創出により、市民一人ひとりが地域の人財としてまちづくりに参画する土壌を育むとともに、住みよいまちづくりに向けた福祉の向上や多様な主体の連携を強化することで地域力を高めるまちづくりに取り組めます。

### ■成果目標

短期	市や国の現状・将来に関する理解度の向上 市内中学生の地元愛着度の向上 児童・生徒の学力の向上
中長期	20～30歳代の若者の定住率・UIJ ターン数の増加

### ■プロジェクトのイメージ

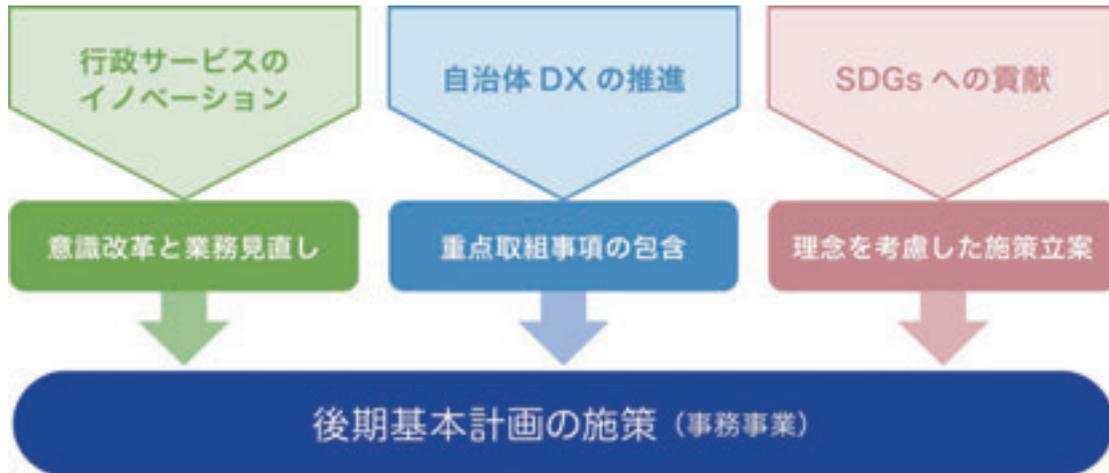


## 基本方針2 多様化社会に対応した行政サービスの向上

### 1. 行政サービスの向上への取組概要

社会情勢に順応できるイノベーションを推進するためには、様々な要素を網羅的に施策に反映していく必要があります。そのため、新たに施策展開していくポイントを抽出し、特に積極的に取り組むこととする3項目を重点ポイントとして設定します。

#### ■基本方針2における重点ポイントのイメージ



#### ■社会情勢の状況（VUCA時代の構図）



「VUCA（ブーカ）」は4つの単語の頭文字をとった造語

<b>V</b> olatility	変動性	「これからどのような変化が起こっていくのか」が予測不可能な、変動が激しい状態
<b>U</b> ncertainty	不確実性	不確実な事柄が多く、「この先、私たちを取り巻く環境がどう変化していくのか」がわからない状態
<b>C</b> omplexity	複雑性	さまざまな要素・要因が複雑に絡み合っていて、単純な解決策を導き出すのが難しい状態
<b>A</b> mbiguity	曖昧性	「どうしたら、問題を解決できるのか」「本当にこの方法で解決できるのか」のように、絶対的な解決方法が見つからない曖昧な状態

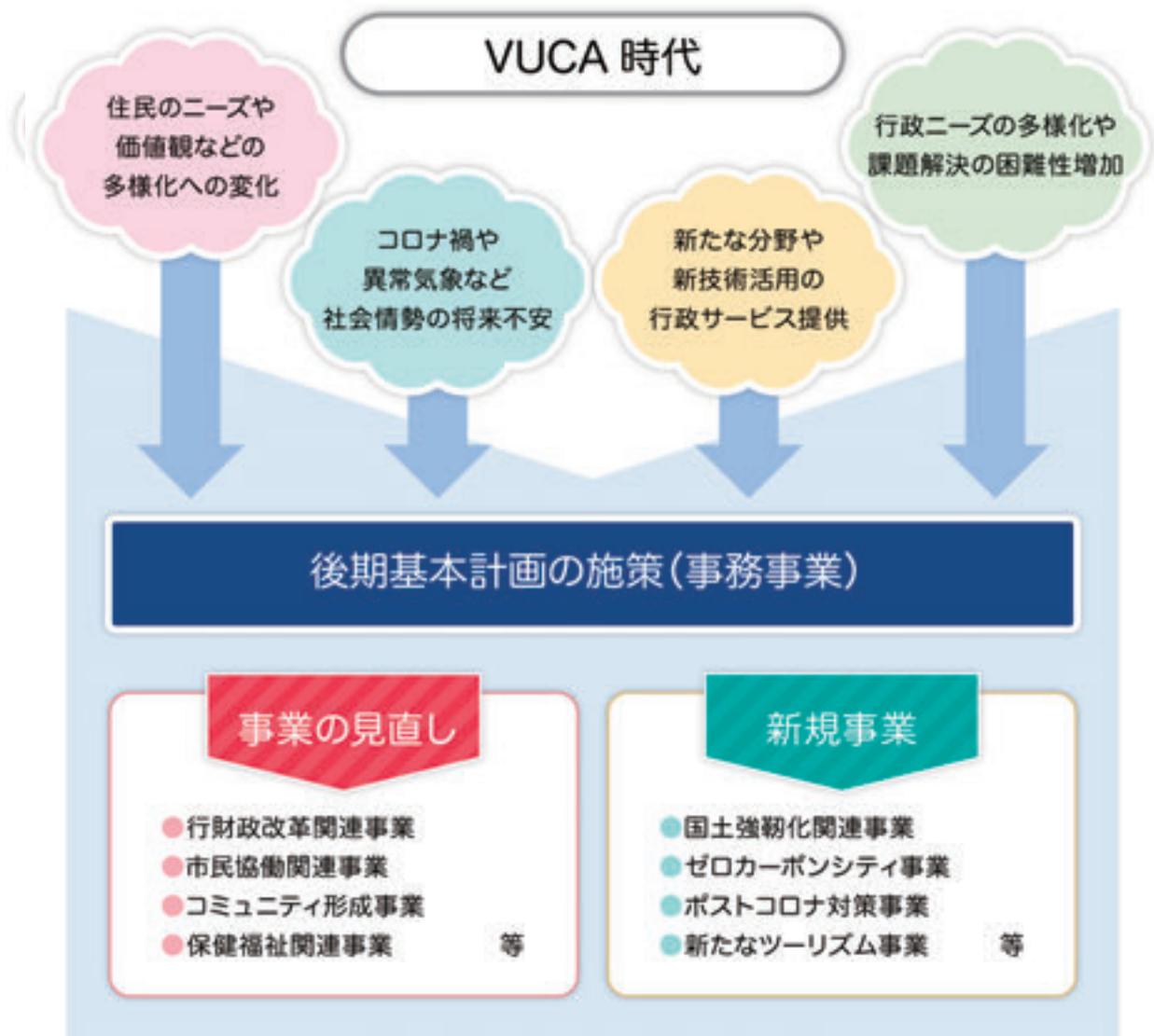
## 2. 重点ポイントの概要

### 重点ポイント① 行政サービスのイノベーション

#### ■重点ポイントの内容

ポストコロナ社会における新たな生活様式や自然災害や環境意識の高まり等の多様化する社会情勢を鑑みて、新しい視点による既存事業のイノベーションの推進や新たな事業の創造による行政運営と施策展開を実施します。

#### ■重点ポイントのイメージ



## 重点ポイント② 自治体 DX の推進

### ■重点ポイントの内容

目指すべきデジタル社会のビジョンを実現するため、先端デジタル技術を活用した住民の利便性向上と業務の効率化などに取り組みます。この取組では、自治体DX推進計画の重点取組として掲げられた 8 項目を中心とし、全庁的に着実に実行していくことで、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を目指します。

### ■重点ポイントのイメージ

#### 自治体 DX の推進による効果



重点ポイント③ SDGsへの貢献

■重点ポイントの内容

SDGs の基本理念を踏まえて設定された 17 のゴールと 169 のターゲットが、各施策とどのように関連性を持つのか明確にします。この関係性を踏まえて施策展開を図ることとし、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきます。

■重点ポイントのイメージ



かすみがうら市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

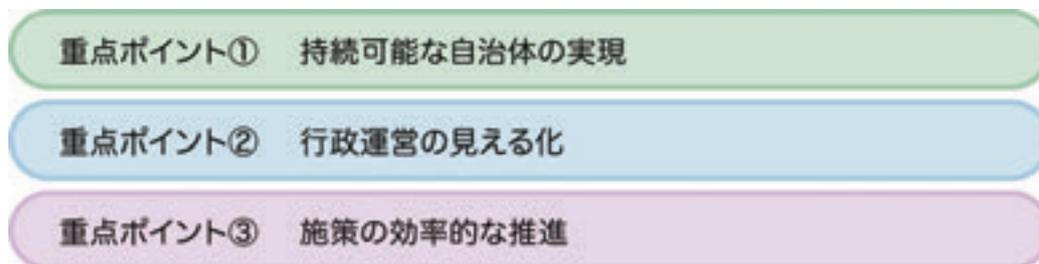
## 基本方針3 持続可能で効率的な開かれた行政運営

### 1. 開かれた行政運営への取組概要

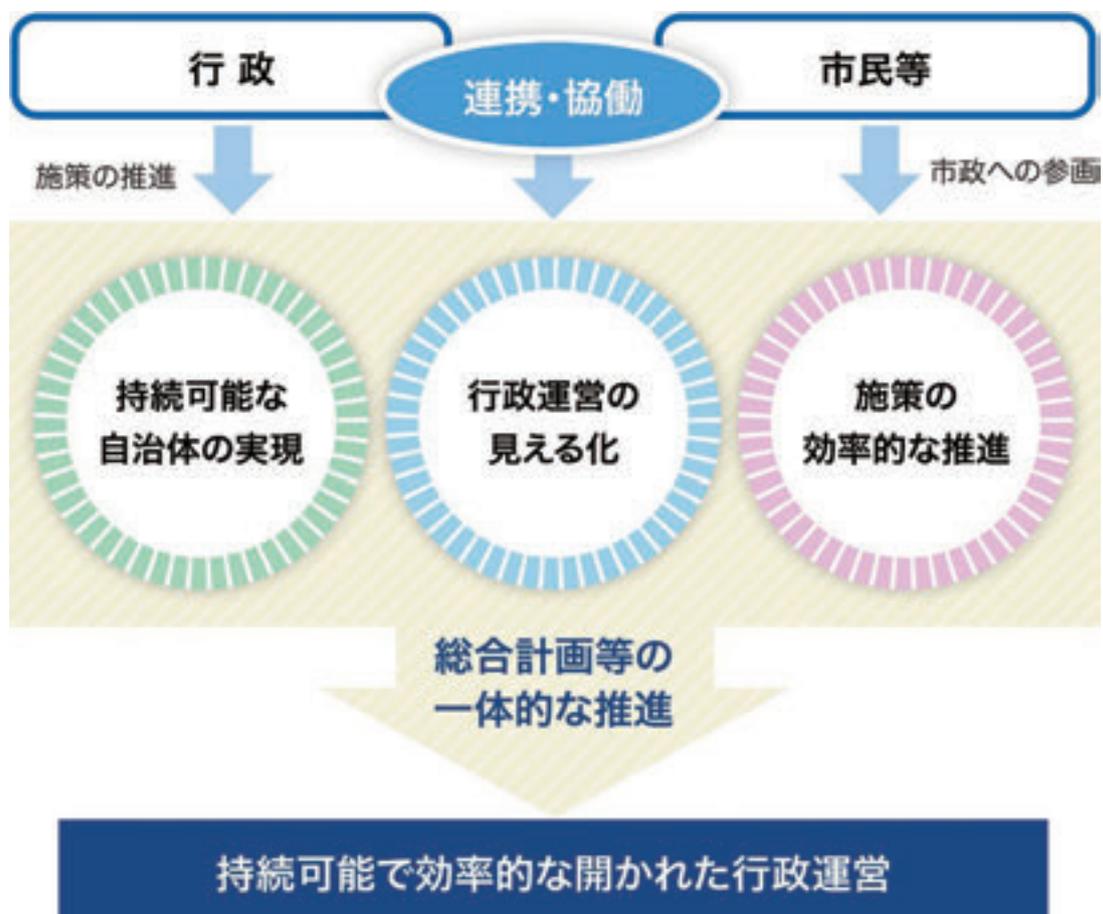
総合計画は、市が目指すべき将来目標の実現のため、具体的に施策をまとめたものです。目標達成のためには行政だけでなく、多様な主体が連携して地域全体で取り組むことが重要です。そのため、すべての人が当事者意識をもってもらえるように意識改革を図り、市政への参画機運を向上させなければなりません。

そして、持続可能で効率的な開かれた行政運営を実現するため、行政と市民が歩調を合わせて計画を推進していくために、3つのポイントを設定し取組を実行していきます。

#### ■基本方針3における重点ポイント



#### ■行政運営のイメージ



## 2. 重点ポイントの概要

### 重点ポイント① 持続可能な自治体の実現

#### ■重点ポイントの内容

持続可能な自治体を実現するには、少子高齢化や生産年齢人口の減少が進んでいる背景から、安定した財源の確保が求められています。そのため、これまでの財政運営を見直して将来負担を減らすため、公共施設の見直しや新たな財源の確保に取り組むほか、積極的に民間事業者との連携を図り、経費の削減や地域の活性化に取り組んでいきます。

また、若い世代が結婚、妊娠・出産、子育てに至るライフステージごとに満足感を持てる環境を整えることで定住化の促進を図っていきます。さらに、安心して地域に暮らし続けられるため、若者から高齢者までのあらゆる世代がつながりを持って、相互に支えあう仕組みづくりに取り組んでいきます。

施策の具体的な取り組みにおいては、「人」の力が必要不可欠で市の職員だけでなく、多様な主体となりうる市民の協力と連携が重要となります。そのため、担い手の意識改革と育成を図ることで、市民の参画と協働を促進し安定的で持続的な地域社会の基盤を構築することができます。

そのため、人づくりへの注力や自分たちの安心な未来を望むことができる基盤を整え、安定的で持続的な地域経済や、新しい時代に対応した強固な自治体の構築を図ります。

#### ■持続可能な自治体実現のイメージ



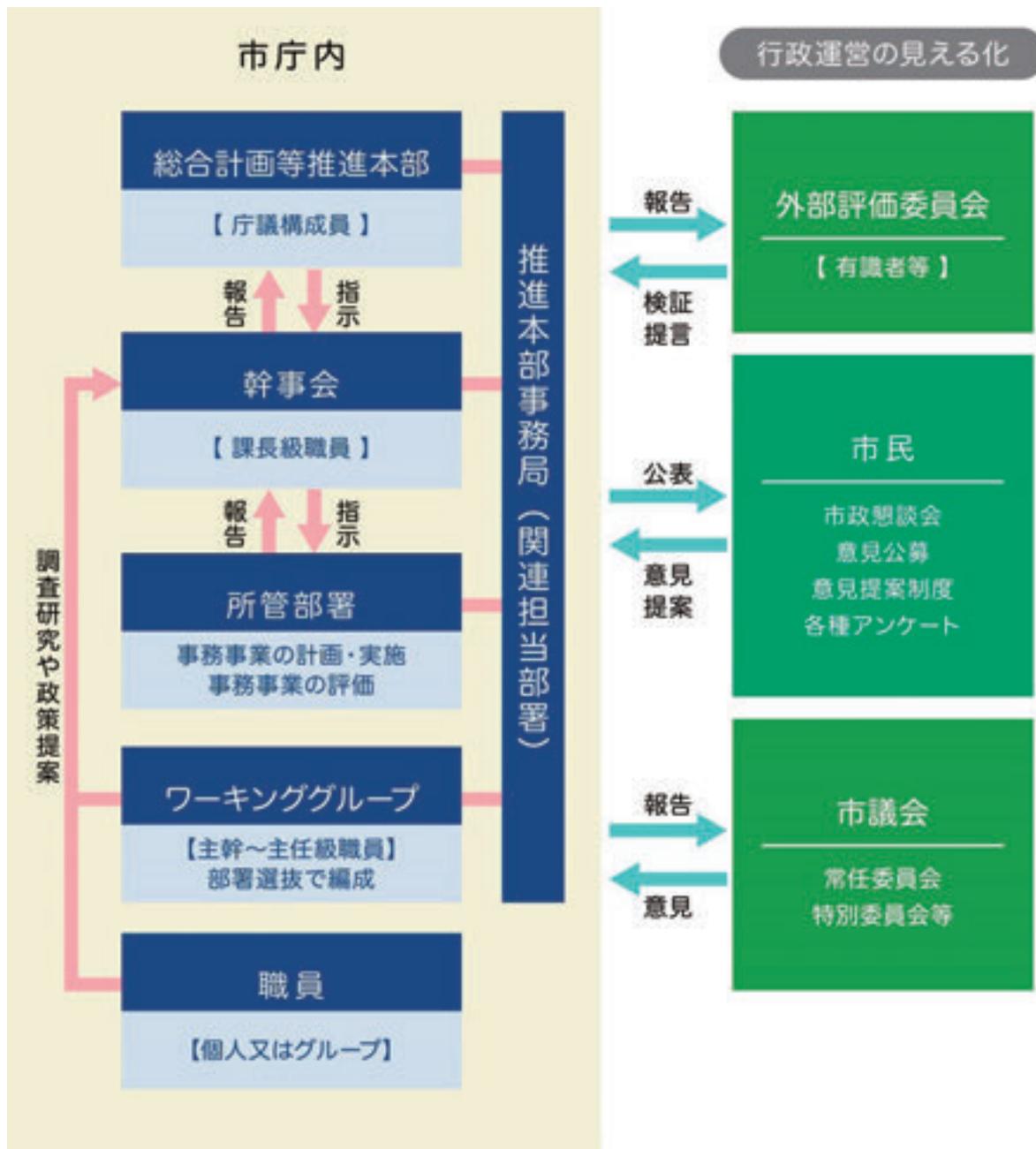
## 重点ポイント② 行政運営の見える化

### ■重点ポイントの内容

持続可能で市民と行政が協働したまちづくりを進めるには、市政情報が市民にわかりやすく伝わり、同時に、市民の生の声を市政に的確に反映していく仕組みが必要です。

行政運営の「見える化」により、市政情報を広く公開すると同時により多角的な意見を聴取する機会を設け、開かれた行政運営を実行します。

### ■行政運営の見える化イメージ



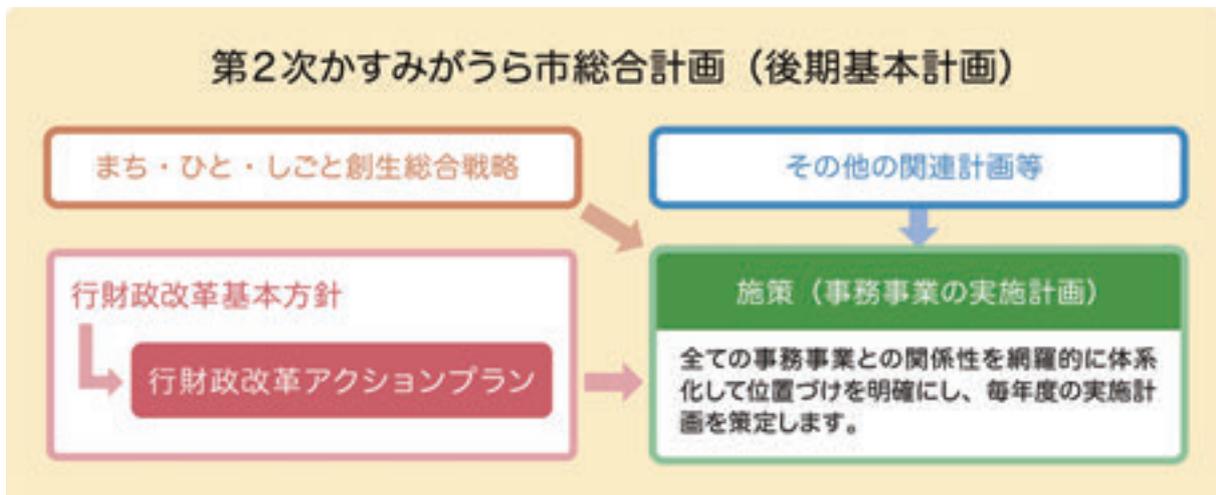
**重点ポイント③ 施策の効率的な推進**

■重点ポイントの内容

将来都市像を実現するため、総合計画の中にまち・ひと・しごと創生総合戦略や行財政改革基本方針などを包含した施策を掲げることで、一体的な計画推進を図ることとします。

一元管理のもと実施された事業は、総合計画等推進本部を中心にPDCAサイクルを踏まえたローリング式で評価を実施し、より実効性のある施策展開を推進することで、スピード感のある効果的な行政運営を図ります。

■総合計画における一元管理のイメージ



■事業評価と活用フローイメージ

